

## 文化・芸術

原画名：フラ・アンジェリコ  
「リナイウオーリ祭壇画」

原画制作年：1433～35年  
板、麻布、石こう地、金箔、卵黄テンペラ  
111.5cm×70.3cm

木島隆康（1951年）

「模写展」のポスターにもなっているこの作品。原画を描いたのは、サン・マルコ修道院の壁画やバチカン宮殿の装飾も手掛けたフラ・アンジェリコです。

この呼び名は「天使のような僧」という意味の通称で、本名はグイド・ディ・ピエトロ。金箔（きんぱく）や銀箔、貴石ラピスラズリの青がふんだんに使われた豪華な原画は、フィレンツェの亜麻織物業組合からの依頼で制作されました。開閉式の扉に大理石の外枠がついた高さ5メートルを超える巨大モニュメントです。その中央パネルを模写したのが本作になります。

周りにいる天使一人ひとりが違うポーズで、違う色の服を着ているところにひかれ模写を始めたと言語る木島氏は現在、東京芸術大学で文化財保存学を教えています。原画を所蔵しているフィレンツェのサン・マルコ美術館に何度も足を運び、技法を研究しながら制作された本作は、展示室に荘厳な空気をもたらしています。（池田）

名画の扉

大川美術館企画展から

